誰ひとり取り残さない二本松小学力保障プラン

家庭学習と学力診断をベストミックスさせたプロジェクト
～下学年での「自ら学びに向かう力」・上学年での「自ら学びを調整する力」の育成～

学年段階に応じた「家庭学習」の実施と実施状況の管理

家庭学習の内容と時間

自主学習

宿題

保護者と教員によるチェック

二本松小では、学びを調整する力を、自分の学力を学力診断等で客観的に捉え、自分に合った学習内容や学習方法を選んで取り組む力と考えます。

6年 小学校6年間の算数・国語の習得状況の診断と自らのキャリア形成を意識した学習への取り組み

5年 適切な学力診断による児童自らによる算数・国語の習得状況把握と結果を基にした自主学習を基本とした自ら学びを調整する力の育成

4年 自ら学びを調整する力育成のための家庭での自主学習方法の享受と進捗状況の把握

自ら学びを調整する力
宿題１：自主学習２

自ら学びに向かう力
宿題２：自主学習１

3年 自ら学びに向かう力育成のための家庭学習の日常化と1～3年までの算数・国語の習得状況の診断

2年 MIMの継続的な実施と家庭学習への積極的な取り組み、適切な学力診断による指導の個別化の必要性の判断と確実な実施

1年 スタートカリキュラム・Mapを活用した児童への適切な支援とMIMアセスメントを活用した保護者との協働的な取り組み

わかば 指導の個別化による児童一人ひとりの学力診断と交流及び協働学習の積極的な実施

MIMとは（Multilayer Instruction Modelの略）学習が進んでいくに連れ、つまずきが顕在化する子どもを仮名文字の読み、特に「特殊音節」の読みに焦点を当て、つまずく前の段階で把握し、指導につなげていくための手法

適切な「学力診断」に基づいた学校全体の取組

学力学習状況調査・学びの調査の分析とその後の取組

業者学習診断テストの分析とその後の取組

ドリルパーク、ＭＩＭのログ活用

校内研究「主体的に問題を解決する子をめざして」

教員による授業力向上への取り組み　　相模原市施策：キャリア教育

１～３年 自ら学びに向かう力 と **４～６年 自ら学びを調整する力** の育成

学年段階に応じた「家庭学習」の実施と実施状況の管理

【学年段階に応じた宿題と自主学習の比率と内容の明確化、家庭学習の学年別最低基準を定め、実施状況の管理する】

二本松小の家庭学習の現状　①平日３０分以下約２５％（全国１３％）　②休日６０分以下約７０％（全国４０％）

宿題
学校から出される必ずしなければいけない学習
音読・プリント・漢字

家庭学習ガイド

自主学習
自分で学習する内容を決めて行う学習
宿題の後行う・週末に行う

１日の最低学習時間	１年（２０分）	２年（３０分）	３年（４０分）	４年（５０分）	５年（６０分）	６年（７０分）

宿題（紙とデジタル・学習内容の理解）

自主学習（紙とデジタル・学習方法の習得）

適切な「学力診断」に基づいた学校としての取組

【学状・学びの調査、ＭＩＭ、業者テスト、ドリルパークログ等のデータ活用から診断と適切な対策の実施】

二本松小の学力の現状　①全国平均から５～１０点下回る　②算数・国語がよく分からない約１０％（全国３％）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
18日学状・学びの調査の全校実施		下旬 学びの調査結果判明		学調の結果を受けた夏休みの家庭学習の実施				11月下旬 学力テストの実施・12月上旬結果判明			算数ベーシックドリル学年のしあげの全校実施 3 days
MIMの１．２年でのトレーニング、全校での月１回の判定											
家庭学習実施の管理　ドリルパーク等のログ活用											
保護者会 家庭学習の進め		修学旅行 遠足	保護者面接 学びの調査結果提示と夏休みの家庭学習の説明		６年 学状結果保護者配付	運動会		保護者面接 学力テスト結果提示と冬休みの家庭学習の説明		保護者会	

Cromebookの積極的活用